

## 総合制作実習

生産技術科では“ものづくりのスペシャリスト”を目指し、機械分野における設計・加工・測定・制御に関連する技術を学んでいます。

2年生はその集大成として「総合制作」に取り組んでいます。今回はその中のひとつ「ピッチングマシンの製作」についてご紹介します。

野球好きなメンバーが集まり、ピッチングマシンを製作している(株)西野製作所 様（かほく市）に伺って技術的なアドバイスをいただき、設計・製作を行いました。組立ての際に判明した位置のズレやホイールの支持不足などさまざまな問題に直面しながらも、最後まで諦めず一丸となって取り組みました。

ものづくりは、試行錯誤することがとても大切です。失敗を繰り返して改善していく過程は、苦しい部分でもあり、楽しさでもあります。

## 就職にむけて

IPC では毎年、就職希望者全員が早い時期に第一希望の企業から内定がもらえるよう、1年生の早い時期から就職に向けた支援をしています。

特に、11月からは「就職対策講座」を開催し、自己理解、企業研究、履歴書添削や面接指導などを行っています。

12月には、学んでいる技能・技術が業界で活かされ

ものづくりの奥深さの一端を経験できたことは、学生達の将来に大きく役立ってくれると思います。



ていることを再認識する機会として、企業で活躍する先輩の声を直接聴き、3月からは能登地区の製造業の人事担当者から直接話が聞ける合同企業説明会も予定しています。

引き続き、石川県内の製造業を中心に活躍できる人材の輩出に努めて参りますので、今後も地域のみなさんのご協力をよろしくお願いします。